

高知県感染症発生動向調査（月報）

2023年4月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第14週(4月3日～)から第17週(～4月30日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における4月の上位6疾患の合計は36.02で3月の4週換算値57.50と比べて減少した。3シーズンぶりに流行したインフルエンザは、3月に減少に転じたものの、だだらと流行が続いている。同時期を過去10年間で比較すると新型コロナ流行が始まった2020年以降では最多だったが、コロナ前と比べると少ない。

1位は感染性胃腸炎で17.83と3月の4週換算値20.10(2位)と比べて減少した。2位はインフルエンザで9.68(3月1位32.15)と減少した。3位以下は軒並み3月よりも増加を示した。3位はRSウイルス感染症で3.60(同4位1.58)、4位はA群溶血性レンサ球菌で2.71(同3位2.02)、5位は突発性発疹で1.15(同5位0.87)、6位は流行性角結膜炎で1.05(同6位0.78)であった。

〈全国の新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

5月8日からCOVID-19は感染症法の2類疾患から5類疾患に変更された。患者数については全数報告から定点報告に変更されるので、5月以降は全数の把握はできなくなる。2022年1月の第6波、7月の第7波、10月に始まった第8波は、いずれも流行株はオミクロン(○)株であるが、亜種がBA.1.1→BA.2→BA.5へと主流が置き換わりながら、感染力を強めている。第8波は、軽症化したが生産力を増したBA.5により、過去最多の1日死者数を記録する日々が続いたが2023年1月以降は落ち着いている。

2023年3月10日を最後に、厚労省は世界の情報を更新していない。3月10日時点での、世界の感染者数は6億7,492万人を、死者は679万人を超えた。5月8日現在の国内の感染者数は33,826,903人、死者は74,677人である。感染者数において日本は世界第6位である。

経時的な年齢階層別患者数を図1Aに、5月9日の時点で累積感染者数が人口に占める割合を図1Bに示す(総務省統計局作成の2021年8月現在人口推計を用いて算出<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/pdf/202108.pdf>)。感染者の割合は、10歳未満がトップで42.12%(100人当たり42.12人が感染した)、次いで10代が39.41%、20代が36.09%と続いている。○株になって「年少者ほどかかりやすい感染症」に変わった理由は明らかでない。

COVID-19は高齢になるほど重症化しやすいが、第6波以降に致死率が低下した。δ株が流行した2021年8月-9月までと、○株による第8波まで(本年4月までのデータ)とで致死率を比較すると、80代以上約14.7%→3.0%、70代5.1%→0.8%、60代約1.3%→0.2%と低下しており、○株になって明らかに軽症化している。しかし、感染者数の増加のために、軽症化とはうらはらに、死亡者の実数は流行ごとに増加の一途をたどった。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	14週	15週	16週	17週	計
1	感染性胃腸炎		3.72	4.20	4.95	4.96	17.83
2	インフルエンザ		2.77	2.16	2.51	2.24	9.68
3	RSウイルス感染症		0.53	0.87	1.12	1.08	3.60
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.49	0.59	0.81	0.82	2.71
5	突発性発疹		0.24	0.26	0.32	0.33	1.15
6	流行性角結膜炎		0.28	0.24	0.28	0.25	1.05

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

感染症法5類疾患で定点報告が必要な感染症については、上位6疾患の報告数は26.50（3月の4週換算値39.42）と減少し、全国よりも少なかった（表2）。高知県においてもインフルエンザの流行が始まったが、全国に比べると小さな流行でおさまりそうである。同時期としては新型コロナ流行が始まって最も多かったが、コロナ前と比べると少ない。5月8日から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は2類疾患から5類疾患に変更されたので、5月の月報から定点報告数がこの項で集計されることになる。

高知県における4月の上位6疾患は次のとおりである。1位はインフルエンザで10.04（同1位18.76）と減少し、全国と同等だった。2位は感染性胃腸炎で7.41（同2位16.59）と減少し、全国よりも少なかった。3位はヘルパンギーナで5.49（同7位0.80）と増加し、全国よりも多かった。4位はRSウイルス感染症で1.92（同4位0.94）と増加したが、全国よりも少なかった。5位はマイコプラズマ肺炎で0.89（同9位0.21）と増加し、全国よりも多かった。6位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で0.75（同3位1.43）と減少し、全国よりも少なかった。

<高知県のCOVID-19>

高知県におけるCOVID-19の月別患者数と死亡者数を図2に示す。δ株流行による第5波のピークは2021年8月で1,382人/月だった。ο株の亜型BA.1流行による第6波のピークは2022年2月の5,971人で、ο株亜型BA.2の流行による第7波のピークは同8月の41,283人/月であり、拡大の一途をたどった。しかし、ο株亜型BA.5による第8波のピークは同12月の25,496人/月にとどまり、さらに1月下旬から減少に転じ現在に至っている。5月7日の時点では感染者は先月から689人増えて170,230人となり、死亡は先月から5人増えて602人となった。

2022年1月以降に高知県で検出・解析されたウイルス変異株の内訳を図5に示す。ο株の亜種BA.5が2022年6月22日に県内で初めて検出され、7月中旬以降の主流株に置き換わり、さらに新たな亜種BQ.1が12月15日に本県で初めて検出され、2月20日にさらに1件検出されたがBA.5にとってかわるところには至っていない。

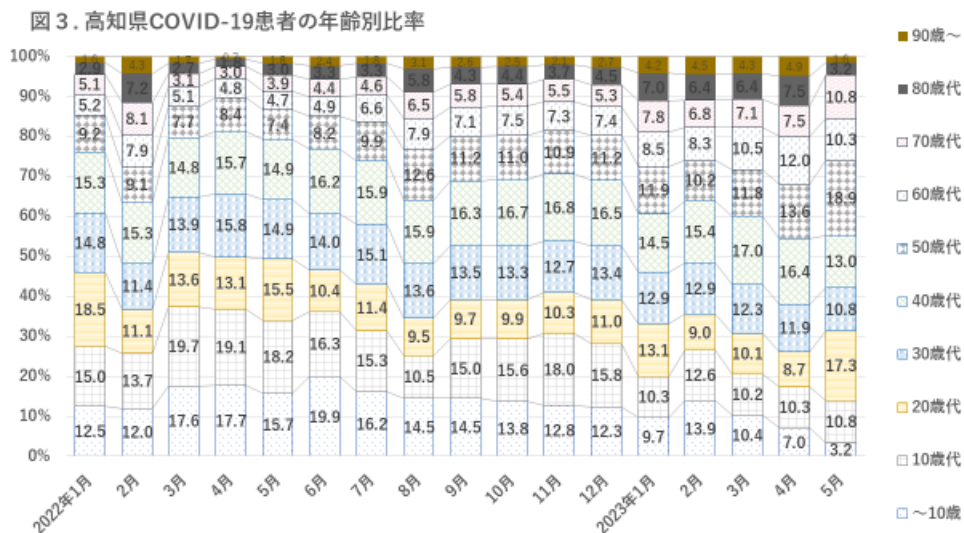
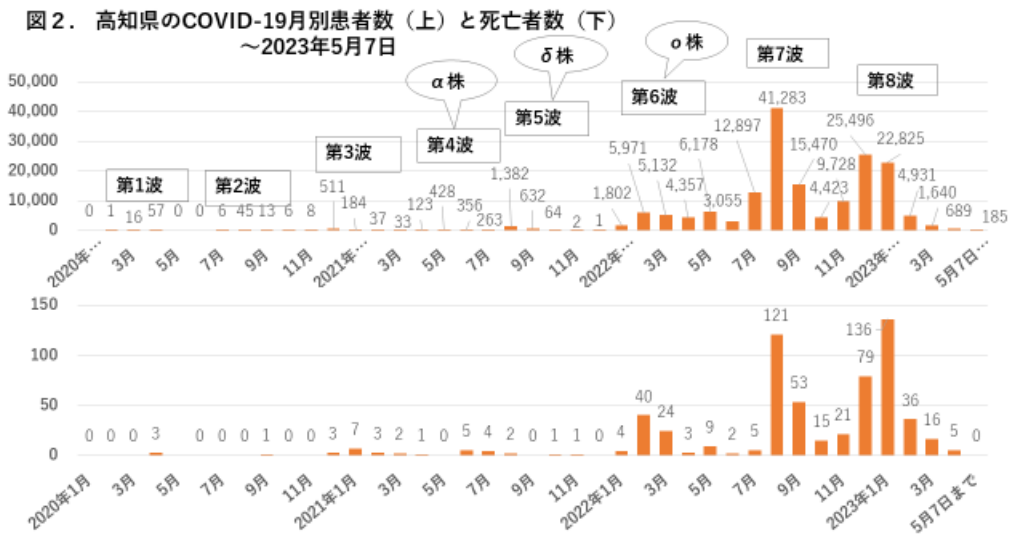
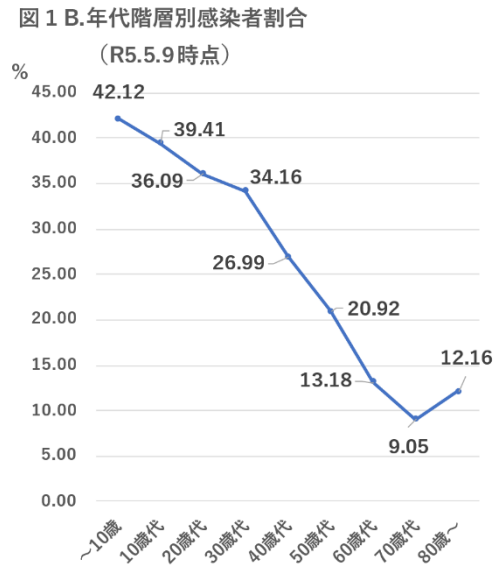
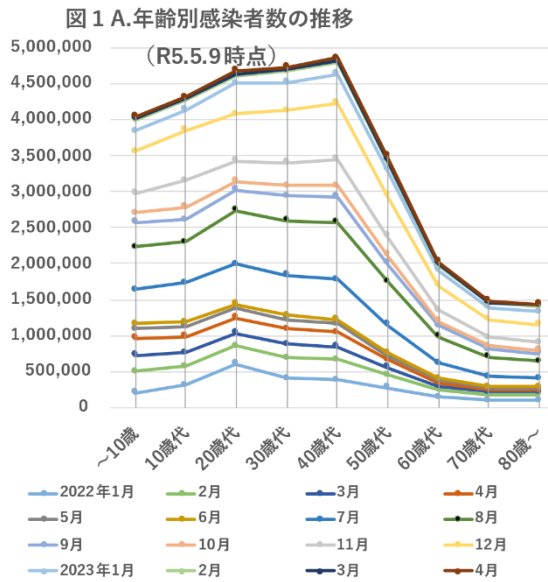
県の対応ステージは、以下のとおりで、とくに2022年は対応ステージが目まぐるしく変更された。

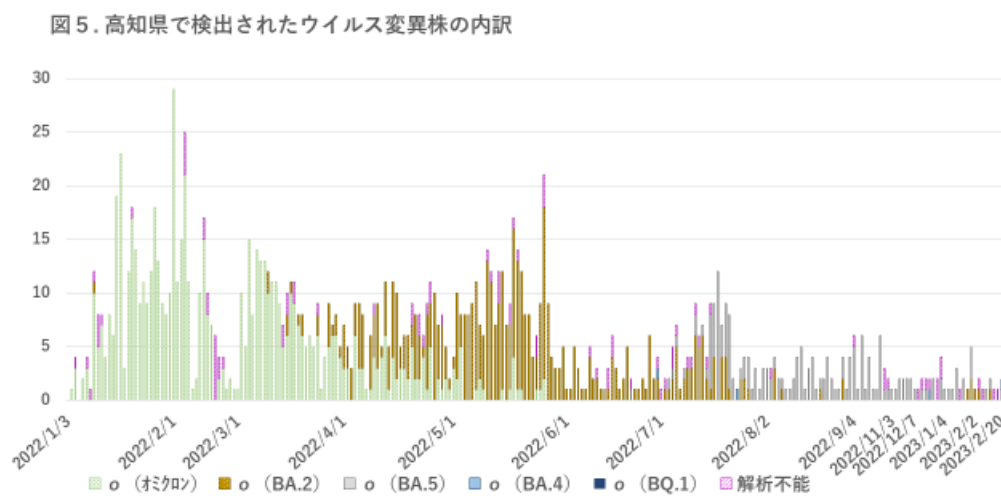
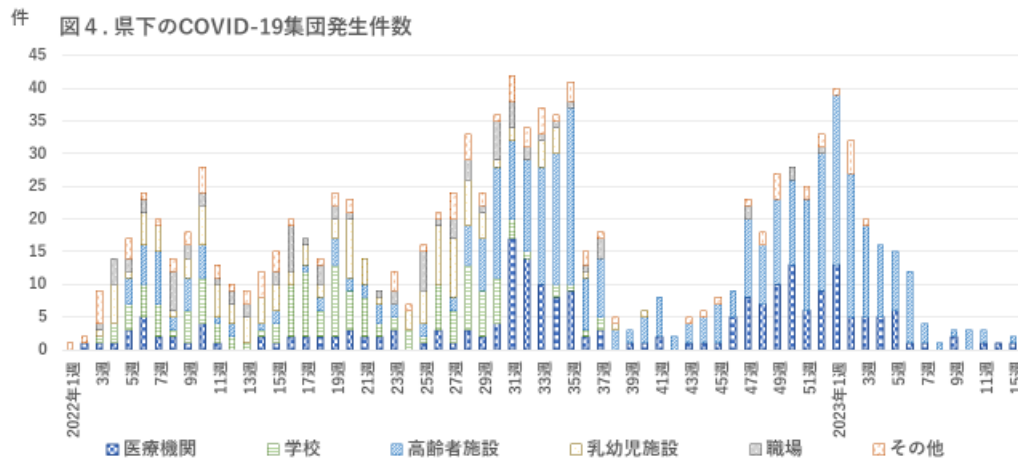
2021年 8月19日～「非常事態（紫）」、10月28日～「感染観察（緑）」、
 2022年 1月7日～「注意（黄）」、同14日～「警戒（オレンジ）」、同20日～「特別警戒（赤）」、さらには、
 2月12日～3月6日「まん延防止等重点措置」、3月24日～「警戒（オレンジ）」7月29日～「特別警戒（赤）」、
 8月16日～「特別対策（紫）」・「BA.5対策強化宣言」、9月16日～「特別警戒（赤）」、同26日～「警戒（オレンジ）」、10月6日～「注意（黄）」、11月17日～「注意（黄）」（県の対応ステージの運用が見直された）、
 12月9日～「警戒強化（赤）」、
 2023年 1月11日～「対策強化（紫）」、1月27日～「警戒強化（赤）」、3月29日～最も低い「感染観察（緑）」に引き下げられた。

2023年5月8日から感染症法上の位置付け変更に伴い、感染対策については以下の観点を踏まえた対応に転換した。『①主体的な選択を尊重し、個人や事業者の判断に委ねることを基本とする。②国や県として一律に求めることはなくなり、個人や事業者は自主的な感染対策に取り組むことになる。国や県は、個人や事業者の判断に資するような情報の提供を行う。』

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	14週	15週	16週	17週	計
1	インフルエンザ		1.67	3.24	3.22	1.91	10.04
2	感染性胃腸炎		1.89	1.19	2.33	2.00	7.41
3	ヘルパンギーナ		0.56	0.89	1.89	2.15	5.49
4	RSウイルス感染症		0.15	0.22	0.85	0.70	1.92
5	マイコプラズマ肺炎		0.38	0.13	0.13	0.25	0.89
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.11	0.19	0.30	0.15	0.75





2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。5月上旬に、関東で流行の兆しがあり要注意である。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 452名 (3月 1,055名)。統計がある1998年以降で初めて、2020/21と2021/22シーズンは流行がなく、2022/23シーズンは3年ぶりの流行となった。流行規模は過去10年では8番目、コロナ前と比べて最少で大きな流行とはいえないが5月に入っても流行がだらだらと続いている。県下全域から報告されており、なかでも幡多がきわだって多かった。AH3 NTウイルスが5件検出された。

2) 咽頭結膜熱

報告数 9名 (3月 16名)。同時期として過去10年間で最も少なかった。幡多と高知市から報告された。原因ウイルスであるAdenovirus 6型が感染性胃腸炎の患者から1件検出された。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 20名 (3月 48名)。同時期として過去10年間では、2022年に次いで2番目に少なかった。高知市、幡多、中央東から報告された。

4) 感染性胃腸炎

報告数 200名 (3月 560名)。過去10年間では2020年に次いで2番目に少なかった。県下全域から報告があった。

5) 水痘

報告数 7名 (3月 7名)。本年1月以降は、同時期として過去10年間で最少の報告で推移している。高知市と須崎から報告された。

6) 手足口病

報告数 19名 (3月 29名)。例年は5-6月に流行が始まるが、2022年は遅れて8月に流行が始まり、だらだらと続いているが流行規模は大きくない。須崎、中央西、高知市から報告された。Coxsackievirus A6が手足口病の患者から1件、その他の患者から1件検出されている。

7) 伝染性紅斑

報告数 3名 (3月 0名)。2020年9月以降は一桁の少ない報告数が続いている。

8) 突発性発疹

報告数 20名 (3月 28名)。想定内の変動である。

9) ヘルパンギーナ

報告数 148名 (3月 27名)。2022年は8月から流行が始まったが規模は小さく、過去10年間で最も小さな流行だった。今年は3月から流行があり例年よりも早い流行である。幡多以外の全域から報告され、中央西、高知市、須崎から特に多く報告された。ヘルパンギーナの臨床診断の患者から、Coxsackievirus A2、A6、Cytomegalovirusがそれぞれ1件ずつ検出され、その他の診断の者からCoxsackievirus A2が3件検出された。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 1名 (3月 2名)。2020年10月から2022年1月まで同時期として過去10年で最少が続き、さらに、2022年7月～2023年2月も最少の報告数が続いた。高知市から1名が報告された。

11) RSウイルス感染症

報告数 52名 (3月 32名)。コロナ流行開始後の2021年は夏の大流行となり、10月に終息した。2022年は、7月から流行が始まり前年に比べると緩やかに増加し、11月に減少に転じたが、その後は増減を繰り返し、4月は増加した。中央西以外から報告があり、高知市、幡多、須崎が特に多かった。ウイルスは検出されていない。

12) 流行性角結膜炎

報告数 1名 (3月 0名) 2019年以降は一桁の報告数で推移している。

13) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 1名 (3月 0名)。高知市から高齢患者が1名報告された。従来は年間10名前後の報告数で推移していたが、2017年6名、2018年5名、2019年2名、2020年4名、2021年6名、2022年6名、2023年2名と少なめで推移している。

14) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (3月 0名)。従来は年間20-30名台の報告数で推移していたが、2017年7名、2018年1名、2019年5名、2020年2名、2021年も3名、2022年は1名、2023年は今のところ報告がない。

15) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 7名 (3月 2名)。高知市から7名が報告された。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 13名 (3月 30名)。大きな変動はないが、同時期として最も少ない報告数だった。高知市と中央東から報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (3月 0名)。2015年以降は、年間0-2名の報告にとどまっている。

高知県における月別全数報告疾患（令和5年4月）

類型	病名	報告月				総計
		1月	2月	3月	4月	
2	結核	3	4	5	3	15
4	サル痘			1		1
	重症熱性血小板減少症候群	1	1	1	2	5
	日本紅斑熱				4	4
5	アメーバ赤痢	1				1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1		2
	後天性免疫不全症候群				1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1		2
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		5		6
	水痘（入院例に限る）	1				1
	播種性クリプトコッカス症			1		1
	梅毒	5	3	5	9	22
総計		14	8	20	19	61

高知県感染症情報 月報 (62定点医療機関)

2023年 4月

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ	5	35	114	31	13	254	452	1,055		
小児科	咽頭結膜熱			3			6	9	16	26	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	16			3	20	48	18	
	感染性胃腸炎	11	46	74	16	2	51	200	560	272	
	水痘			6		1		7	7	11	
	手足口病			10	3	6		19	29	5	
	伝染性紅斑		1		2			3		2	
	突発性発疹		2	13		2	3	20	28	38	
	ヘルパンギーナ	6	18	87	22	15		148	27		
	流行性耳下腺炎			1				1	2		
	RSウイルス感染症	1	5	28		5	13	52	32	1	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			1				1		1	
STD	性器クラミジア感染症			7			1	8	9	3	
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ										
	淋菌感染症			1				1		2	
基幹	細菌性髄膜炎			1				1			
	無菌性髄膜炎										
	マイコプラズマ肺炎			7				7	2	2	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)								2	1	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1	12				13	30	20	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
計		23	109	381	74	44	331	962	1,847	402	
前月		40	429	964	118	110	186				
前年同月		16	52	164	51	33	86				
小児科定点数		2	7	9	2	2	5				

高知県感染症情報 月報 (62定点医療機関)

2023年

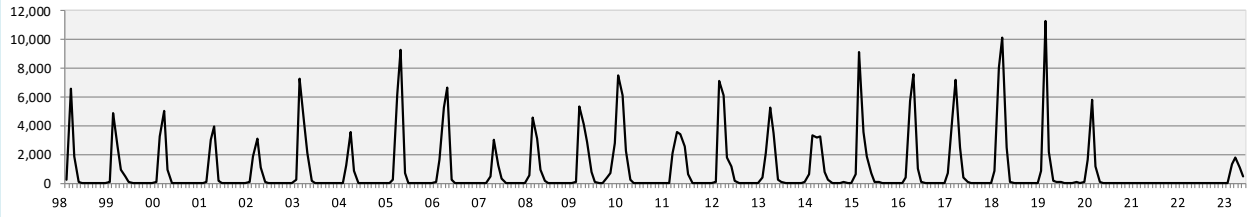
4月

定点当たりの人数

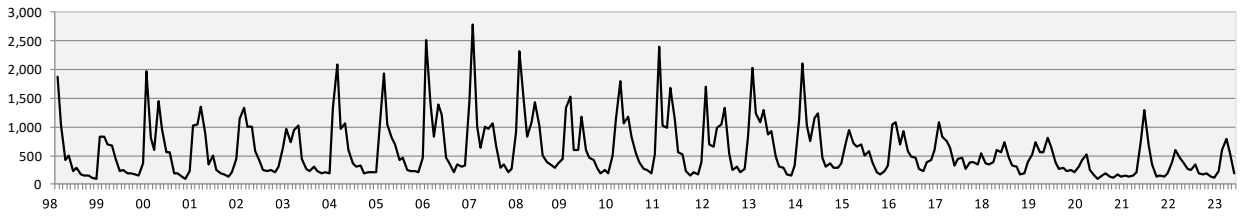
定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	1.25	3.19	8.14	7.75	3.25	31.76	10.04	23.45	
小児科	咽頭結膜熱			0.33			1.20	0.33	0.60	0.94
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.14	1.77			0.60	0.75	1.79	0.63
	感染性胃腸炎	5.50	6.57	8.22	8.00	1.00	10.20	7.41	20.74	9.71
	水痘			0.67		0.50		0.26	0.26	0.40
	手足口病			1.10	1.50	3.00		0.71	1.07	0.18
	伝染性紅斑		0.14		1.00			0.11		0.08
	突発性発疹		0.28	1.44		1.00	0.60	0.74	1.04	1.37
	ヘルパンギーナ	3.00	2.56	9.67	11.00	7.50		5.49	1.00	
	流行性耳下腺炎			0.11				0.04	0.08	
	RSウイルス感染症	0.50	0.71	3.10		2.50	2.60	1.92	1.18	0.04
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.33
STD	性器クラミジア感染症			3.50			0.50	1.33	1.50	0.50
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症			0.50				0.17		0.33
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎			1.40				0.89	0.26	0.26
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)								0.26	0.13
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1.00	2.40				1.63	3.75	2.50
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		10.25	13.59	34.55	29.25	18.75	46.96	27.80	51.21	13.35
前月		16.75	45.46	77.92	39.75	48.00	35.91			
前年同月		6.50	7.29	15.64	17.00	16.50	16.80			

注目される疾患別月別推移

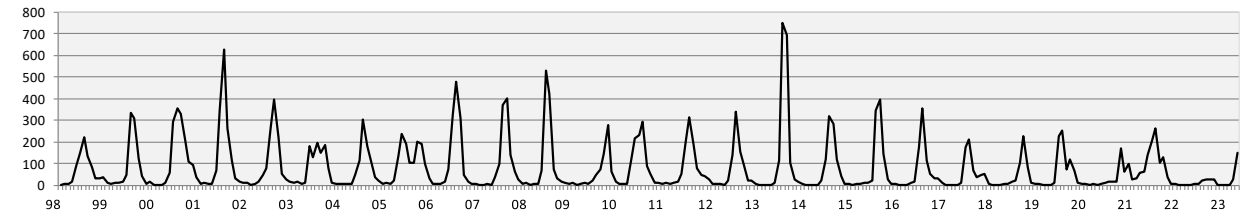
インフルエンザ



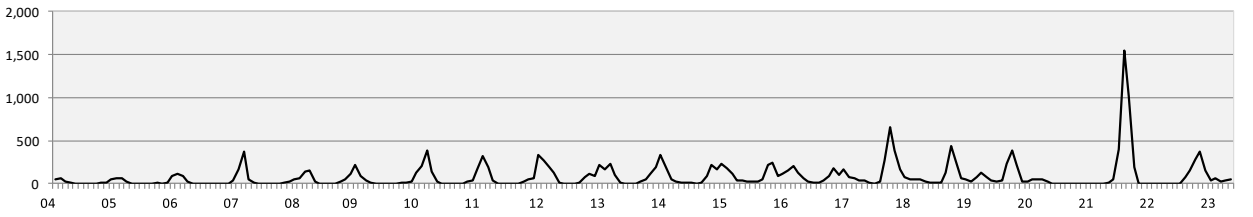
感染性胃腸炎



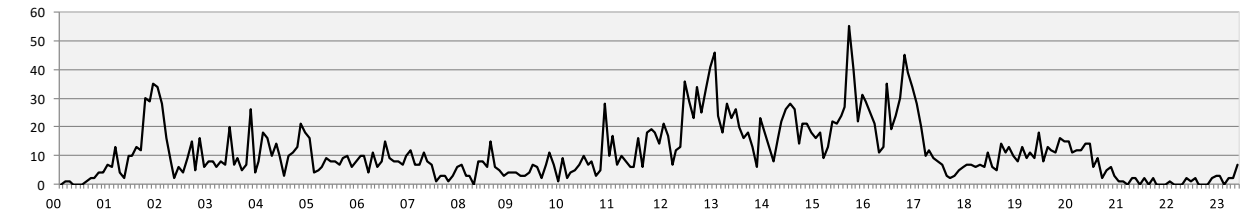
ヘルパンギーナ



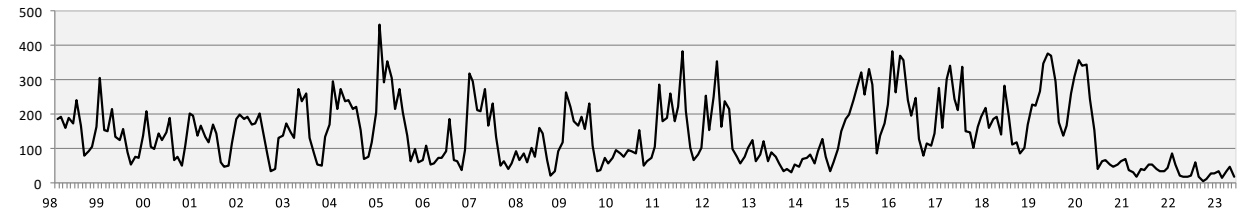
RSウイルス感染症



マイコプラズマ肺炎



A群溶血性レンサ球菌感染症



高知県感染症情報（月報）

2023年4月

検査情報

ウイルス，細菌の分離状況

令和5年4月はウイルス34件、細菌2件の搬入があり、そのうちウイルス21件の病原体を検出し、3月に搬入された検体からウイルス1件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 6 1件、Coxsackievirus A2 4件、Coxsackievirus A6 3件、Cytomegalovirus 2件、Herpes simplex virus 1 1件、Human herpes virus 6 2件、Human herpes virus 7 1件、Influenza virus A H3 NT 5件、Rhinovirus 3件であった。

ウイルス，細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	11か月	女	インフルエンザ疑い	38℃,咳嗽,	ぬぐい液	3/24	Rhinovirus
2	16	男	インフルエンザ	39℃,関節痛,	鼻汁	3/28	Influenza virus A H3 NT
3	1	男	不明発疹症	38℃,発疹,	ぬぐい液	4/3	Coxsackievirus A6
4	2	女	手足口病	38℃,発疹,口内炎,	ぬぐい液	3/30	Coxsackievirus A6
5	1	男	ヘルパンギーナ	39℃,発疹,	ぬぐい液	4/4	Coxsackievirus A6
6	1	男	ヘルパンギーナ	39℃,発疹,	ぬぐい液	4/4	Cytomegalovirus
7	9	女	不明熱	38℃,発疹,	ぬぐい液	4/8	Human herpes virus 6
8	4	女	インフルエンザ	40℃,腹痛,	ぬぐい液	4/10	Influenza virus A H3 NT
9	3	女	インフルエンザ	40℃,	ぬぐい液	4/6	Influenza virus A H3 NT
10	2	男	手足口病	39℃,発疹,	ぬぐい液	4/10	Herpes simplex virus 1
11	4	男	手足口病	発疹,	ぬぐい液	4/8	Human herpes virus 7
12	8か月	男	感染性胃腸炎	-	ふん便	4/10	Adenovirus 6
13	4	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	4/7	Influenza virus A H3 NT
14	11	男	インフルエンザ	40℃,気管支炎,	ぬぐい液	4/13	Influenza virus A H3 NT
15	2	男	不明熱	40℃,	ぬぐい液	4/14	Coxsackievirus A2
16	3	男	不明熱	39℃,	ぬぐい液	4/13	Coxsackievirus A2
17	2	女	不明熱	39℃,	ぬぐい液	4/14	Coxsackievirus A2
18	1	女	ヘルパンギーナ	39℃,口内炎,	ぬぐい液	4/12	Coxsackievirus A2
19	2か月	男	上気道炎	39℃,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	4/11	Rhinovirus
20	5	男	水痘	発疹,	ぬぐい液	4/21	Human herpes virus 6
21	5	男	リンパ節炎	-	ぬぐい液	4/17	Cytomegalovirus
22	1	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	4/21	Rhinovirus

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2023年				2023年 総計
		1月	2月	3月	4月	
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	10	6	9	5	30
	計	10	6	9	5	30
感染性胃腸炎	Adenovirus 6				1	1
	Adenovirus 41		1			1
	Norovirus GII NT	3	11			14
	計	3	12		1	16
水痘	Human herpes virus 6				1	1
	計				1	1
手足口病	Coxsackievirus A6	1		3	1	5
	Herpes simplex virus 1				1	1
	Human herpes virus 7		1		1	2
	Rhinovirus				1	1
	計	1	1	3	4	9
伝染性紅斑	Epstein-Barr virus			1		1
	計			1		1
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A2				1	1
	Coxsackievirus A6				1	1
	Cytomegalovirus				1	1
	計				3	3
その他	Adenovirus 1			1		1
	Adenovirus 41	1				1
	Coxsackievirus A2				3	3
	Coxsackievirus A6			1	1	2
	Coxsackievirus B5			1		1
	Cytomegalovirus				1	1
	Human herpes virus 6			3	1	4
	Human herpes virus 7		1	2		3
	Influenza virus A H3 NT	1				1
	Norovirus GII NT	2	1	1		4
	Respiratory syncytial virus B		1			1
	Rhinovirus		1	1	1	3
	計	4	4	10	7	25
総計		18	23	23	21	85

類型	病名	報告年																							総計			
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021		2022	2023	
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	15	1,963	
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	15	1,963	
3	コレラ	1					1					1															3	
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											2							27	
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	210		
	腸チフス		1							1								1				1					4	
	パラチフス	2																									2	
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	246		
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3					3	1								34	
	E型肝炎												1		1							2					6	
	オウム病			1			1														1					1	3	
	Q熱	1	1	2				1																			5	
	サル痘								1																		1	
	重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	5	
	つつが虫病		9	5	2	4	5	7	6	2	5	4	2	5	8		3	3	4	11	2	3	3	1	5	99		
	デング熱												1			3	2	1				2					9	
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	4	227	
	日本脳炎	1	1	1					1			1	1														6	
	マラリア								2				1									1					4	
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8		97	
	レプトスピラ症											1		4	2	1				1							9	
	計	20	21	26	12	23	21	19	16	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	10	566	
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	54	
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3		3		1			2	1	1	2	2	2		64	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																7	19	21	22	21	20	10	5	12	2	139	
	急性弛緩性麻痺																				1	2					3	
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2		24	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2			2	1	1	3		1		36	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1		1	1	3			1		3	5	6	2	2	5	4		37	
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	1	88	
	ジアルジア症		1	2	1						1			1	1							1					8	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																1	5	3	4	7	3	1	1	3	2	30	
	侵襲性肺炎球菌感染症																1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	6	119
	水痘（入院例に限る）																	2	1	1	3		3	3	3	1	17	
	髄膜炎菌性髄膜炎									1																	1	
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	22	400	
	播種性クリプトコックス症																		1	3	5				4	1	14	
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3		39	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1							1							1		1	1						5	
	百日咳																					173	172	35	3	9	392	
	風しん										1	1			4	9	1					3					19	
	麻疹										5																5	
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	36	1,494	
新型	新型インフルエンザ																										34	
	新型コロナウイルス感染症																										663	
	計																										3,505	
	計																										30,270	
動物	鳥インフルエンザ																										1	
	計																										1	
	総計	61	48	67	42	51	53	47	61	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	877	3,726	136,013	30,331	174,534	